

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

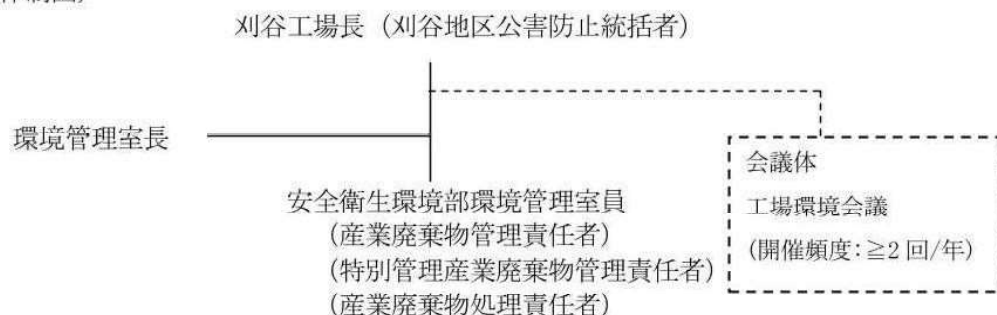
産業廃棄物処理計画書	
平成29年 6月28日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県東海市荒尾町7/割1番地 氏 名 愛知製鋼株式会社 代表取締役社長 藤岡 高広 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-604-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	愛知製鋼株式会社 刈谷工場
事業場の所在地	愛知県刈谷市豊田町3丁目6番地
計画期間	平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉄鋼業
② 事業の規模	平成28年度製造品出荷額：1,505,769万円
③ 従業員数	121名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<産業廃棄物の種類と処理工程> 金属 [※] ・・・・・・中間処理業者に委託し、鉄源として再利用化 廃油・・・・・・中間処理業者に委託し、燃料等へ再利用化 無機性汚泥・・・・①中間処理業者に委託し、建材等へ再利用化 ②中間処理業者に委託し、残渣埋立処分 廃プラスチック・・・・中間処理業者に委託し、残渣埋立処分 ガラス・陶磁器 [※] ・・・・①中間処理業者に委託し、建材等へ再利用化 ②中間処理業者に委託し、残渣埋立処分 木 [※] ・・・・・・中間処理業者に委託し、残渣埋立処分

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の徹底により、最終処分量の低減推進
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状と同じ

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・金属くず類の再利用継続推進。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状と同じ。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託による最終処分量の低減。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 委託処理業者への定期的な現地確認実施。 ・ 可能な限り優良認定処理業者への委託処理を行うように努めていく。		
※事務処理欄			

別紙

単位:トン

産業廃棄物の種類		無機性汚泥	金属クズ	廃プラスチック	廃油	ガラス・陶磁器クズ	木クズ	ガラス・陶磁器くず (蛍光灯)	合計
<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>	現状	2,729.40	169.72	20.46	5.42	0.08	1.85	0.07	2,927.00
	計画	2,909.50	180.92	21.81	5.78	0.09	1.97	0.07	3,120.14
<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>	現状	0	169.69	0	0	0	0	0	169.69
	計画	0	180.89	0	0	0	0	0	180.89
<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>	現状	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0
<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項>	現状	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0
<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>									
全処理委託量	現状	2,729.40	0.03	20.46	5.42	0.08	1.85	0.07	2,757.31
	計画	2,909.50	0.03	21.81	5.78	0.09	1.97	0.07	2,939.25
優良認定処理業者への処理委託量	現状	2,365.66	0	20.46	5.42	0.08	1.85	0	2,393.47
	計画	2,521.76	0	21.81	5.78	0.09	1.97	0	2,551.40
再生利用業者への処理委託量	現状	136.54	0	0	5.42	0	0	0.07	142.03
	計画	145.55	0	0	5.78	0	0	0.07	151.40
認定熱回収業者への処理委託量	現状	0	0	0	5.42	0	0	0	5.42
	計画	0	0	0	5.78	0	0	0	5.78
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0